

足利将軍家邸宅跡

[東陣]

同志社大学室町キャンパスの一部は、かつて足利家の邸宅があった土地にあります。足利家は、16 世紀後半まで日本を支配することになる幕府（軍事政権）を 1338 年に樹立した、有力な侍一族でした。

第 3 代将軍・足利義満（1358～1408 年）が、1379 年にこの場所に邸宅を建てました。「花の御所」の愛称を持つその邸宅は、賑やかな室町通に面していました。この場所の名前は、室町幕府としても知られる足利政府にちなんで付けられたものです。

今は石碑が、15 世紀の戦によって破壊され捨て去られた邸宅の跡地を示しています。現在、かつての「花の御所」から発掘された多くの遺物が、近くにある寒梅館の建物内に展示され、一般に公開されています。